

まちづくりラボ・プロジェクトの拠点「ミントポ」の取組み

令和6年度 これまでの活動

ア 暮らしや地域活動のニーズに関する取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
ミントポ菜園部 (昨年度より 6 回開催) [R5.8～]	コンポスト(家庭から出る生ごみから作った堆肥)による循環型社会の提案と、菜園を見守ることで持続可能な地域コミュニティ形成を目指す取組みとして、専門家の指導のもと、コンポストを使用した土で野菜やハーブを育てるワークショップを定期的開催。(予約制、合計 30 名参加) 
ほうかごミントポ クラブ (教育委員会後援 事業) [R5.12～]	子どもの居場所づくりとして、毎週水曜日の午後、カフェ店内の小上がりを近隣小学生の放課後の居場所として開放し、子どもたちの交流と遊びの場を提供。 毎週 4～10 名程度、近隣小学校の高学年児童の利用があり、宿題や工作、読書など思い思いの時間を過ごしている。 
親子で楽しむお話 会 [R6.7](昨年度より 3 回開催)	NPO 法人絵本で子育てセンターの発意により、赤ちゃん～幼児とその保護者向けの読み聞かせ会を実施(毎回 10 名程度参加)。

ベンチ設置
[R6.5～]

駅前公共空間や団地のオープンスペースにおけるベンチなどの休憩施設の配置検討に際し、展示を行っているスペースにベンチを設置。地域の方の休憩場所としても活用されている。



中学校職場体験
[R6.7]

竹の塚中学校と連携し、中学生が地域との関わりを持つ機会を提供した。

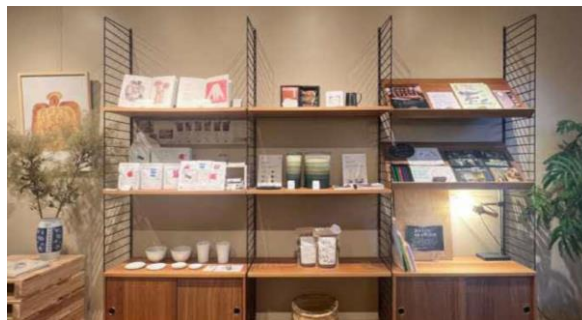
生徒 2 名を三日間迎え入れ、菜園の水やりや収穫、工作キット作成やカフェ業務などを体験した。

足立百貨店
～足立区由来の雑
貨等のセレクト棚
(有料)の設置
[R6.6～]

区内のものづくりと担い手の紹介を合わせて商品の展示販売をすることで、まちへの愛着を高める取組み。

千住東にある古民家喫茶のオリジナル日本茶や、栗原でデザイン及び製造を行う道具店の食器など、現在 7 店舗の商品を販売している。

※ 持続可能なエリアマネジメントに資する試みとして展示販売スペースは有償。



ジャズコンサート
(同日 2 回開催)
[R6.6]

プロのジャズシンガーとギタリストによる生演奏会を開催。25 名以上の参加があり、道端で足を止めて演奏を聴く方も多数。ジャズが流れてくる街の光景に、「竹の塚が変わった」という意見を多数いただいた。



イ 未来の竹の塚を考える取組み

名称[開催時期]	目的及び内容
竹の塚を考える展 [R5.5～]	まちづくりラボの活動内容を情報発信するため、「竹の塚を考える展」と題した展示を常設(開始より累計来場者数 44,000 人)。  
アイデアカード投函箱 [R5.7～] 展示 [R6.5～]	来訪者に「あったらいいな！こんな竹の塚」というテーマで小さい円形のカードにイラストや文字でアイデアを募集。設置から 1 年間で 164 枚のカードが集まった。 また、集まったカードを展示し、まちへのアイデアや意見が見える化している。訪れた多世代の人々からの地域のニーズを把握しながら、UR都市機構が進めるストック再生の検討にも活かしていく。  